

離

別(イビヨル)

作詩作曲

吉屋

潤

1

※逢誓一青忘あ冷時
 忘あ冷時海山いつ人いれんたに
 れんたにの越たた過月はないは
 はないは彼えく言ごをしに人思
 しに人思方遠な葉す見な愛だい
 な愛だい遙くるを夜上いしけ出
 いしけ出かにで繰はげでたどす
 でたどすしり
 し想で離別よ返
 よいしれれうし
 う出よてて
 をうもも

2

※印繰り返す
 燃たす流心寄運あ
 えとべれをせんた
 つえてゆ揺てでた
 づ二をくらは来の
 け人変月す返る噂
 てのえ日です夜を
 い炎るがし淋は風
 てがでしよう
 が
 よし
 うさに

離 別(イビヨル)

作詩作曲

吉屋

潤

1

時には思い出すでしょう

冷たい人だけど

あんなに愛した思い出を

忘れはしないでしよう

青い月を見上げ

一人過ごす夜は

誓った言葉を繰り返し

逢いたくなるでしょう

山越え遠くに 別れても

海の彼方遙か 離れても

時には思い出すでしょう

冷たい人だけど

あんなに愛した思い出を

忘れはしないでしよう



離 別(イビヨル)

作詩作曲

吉屋

潤

2

あなたの噂を風が

運んで来る夜は

寄せては返す淋しさに

心を揺らすでしょう

流れゆく月日が

すべてを変えてでしょう

たとえ二人の炎が

燃えつづけていても

山越え遠くに 別れても

海の彼方遙か 離れても

時には思い出すでしょう

冷たい人だけど

あんなに愛した想い出を

忘れはしないででしょう